

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和01年12月16日

計画の名称	快適な生活環境を備えた魅力ある定住都市の創出（第2期）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	石川県、野々市市												
計画の目標	野々市市においては人口の増加傾向が継続しており、その受け皿として計画的に宅地整備を行うことによる快適な住環境の創出を目指している。 また、あわせて市内での円滑な移動に必要な都市内幹線道路の整備を進めることも生活環境整備においては必要である。 本計画により、快適な生活を送るために必要となる都市基盤の整備を進めることで魅力的な定住都市の形成を図るものである。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	960	A	960	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R1当初		R6末
1	土地区画整理事業施行地区内人口を611人(H31.3末)から1,300人(R6末)に増加させる。 土地区画整理事業施行地区内の人口 野々市市西部中央土地区画整理事業施行地区および野々市市中林土地区画整理事業施行地区内の人口の合計	611人	人	1300人
2	野々市市立地適正化計画における居住誘導区域内人口を46,983人(H31.3末)から48,500人(R6末)に増加させる。 野々市市立地適正化計画における居住誘導区域内の人口	46983人	人	48500人
3	野々市市内での移動円滑化率を86%(H31.3末)から91%(R6末)に増加させる。 市内における移動円滑化率 (Σ移動が円滑化された道路延長／Σ市内において都市計画決定された道路延長)×100	86%	%	91%

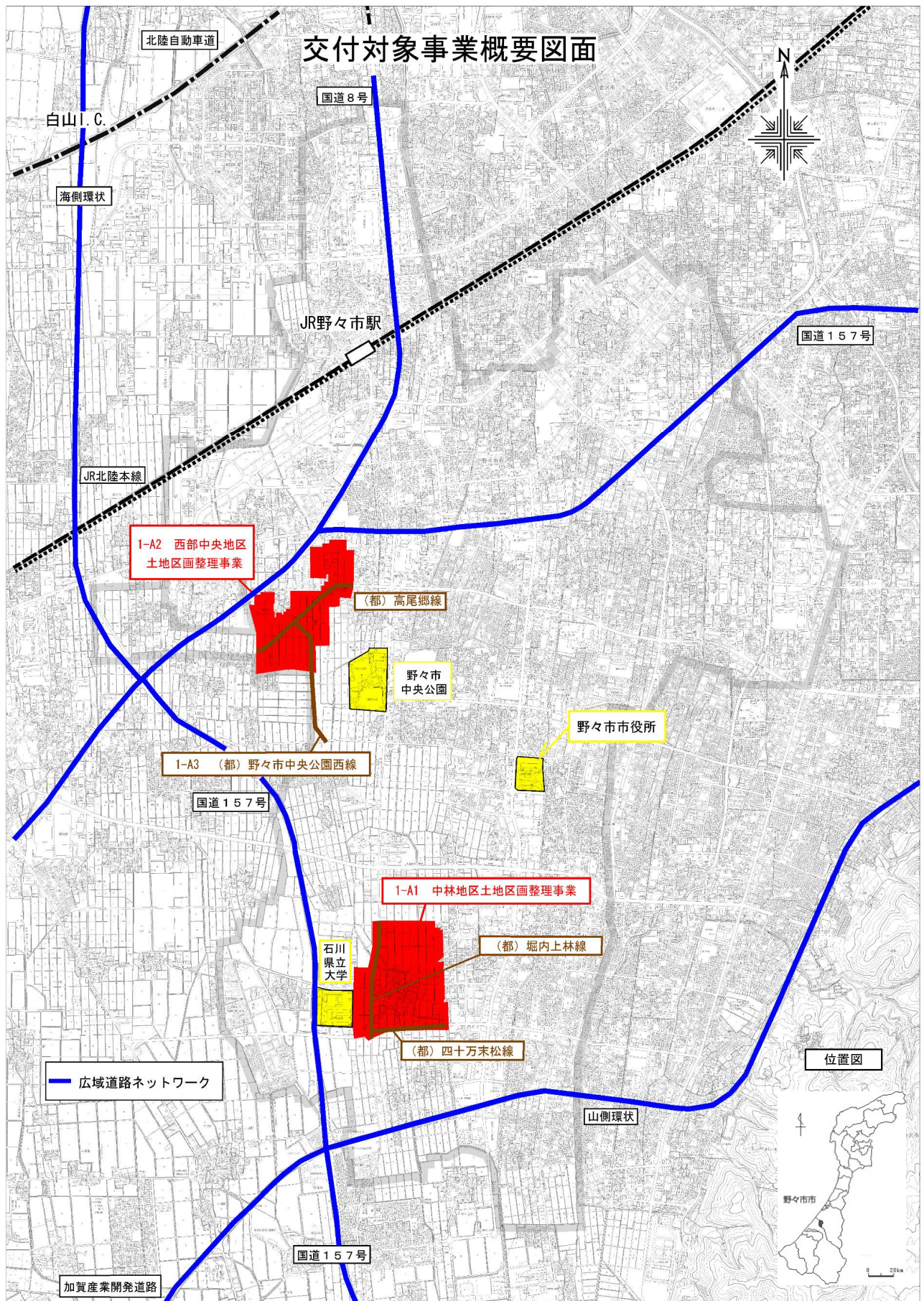
備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	石川県	間接	土地区画整 理組合	区画	改築	野々市市中林地区（都四 十万・末松線外）	区画整理 A=31.1ha	野々市市	■	■	■			432	—	
	A01-002	街路	一般	石川県	間接	土地区画整 理組合	区画	改築	野々市市西部中央地区（ 都高尾郷線外）	区画整理 A=21.0ha	野々市市	■	■	■			128	—	
	A01-003	街路	一般	野々市市	直接	野々市市	市町村 道	新設	（都）野々市中央公園西 線	バイパス L=0.5km	野々市市		■	■	■	■	400	—	
											小計						960		
											合計						960		

(参考図面)

計画の名称	1 快適な生活環境を備えた魅力ある定住都市の創出 (第2期)		
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)	交付対象	石川県、野々市市



事前評価チェックシート

計画の名称： 快適な生活環境を備えた魅力ある定住都市の創出（第2期）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題及び利用状況を踏まえて事業内容が検討されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が得られる計画となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の機運 1) 事業内容について地元の意見が反映されている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○